

○輸出

1. 中心となる記述部分

- ・第1章第2節 グローバルマーケットの戦略的な開拓
(1) 農林水産物・食品の輸出促進 (P.49)

2. その他の記述部分

- ・特集 次世代を担う若手農業者の姿 ～農業経営の更なる発展に向けて～
2 若手農業者向けアンケート結果の分析
(1) 農業、農業施策に対する考え（農家の経営主・世帯員＋法人役員＋農家・法人の雇用者：1,885人）
ア 我が国農業の在り方
（「国内だけでなく海外にも目を向けるべき」との回答は35.1%）(P.9)
- ・トピックス1 産出額が2年連続増加の農業、更なる発展に向け海外も視野に
（専ら国内需要を念頭に置く農業生産から、世界需要も視野に入れた農業生産へ）(P.28)
- ・トピックス2 日EU・EPA交渉の妥結と対策
2 合意内容 (P.30)
3 総合的なTPP関連政策大綱の改訂 (P.33)
- ・トピックス3 「明治150年」関連施策テーマ 我が国の近代化に大きく貢献した養蚕 (P.35)
- ・第1章第1節 食料自給率と食料自給力指標
(1) 食料自給率の目標と動向
（長期的には低下傾向で、近年は一定の範囲で推移）(P.45)
- ・第1章第2節 グローバルマーケットの戦略的な開拓
(2) 日本食・食文化の海外展開と規格・認証・知的財産の活用等 (P.57)
- ・第1章第3節 世界の食料需給と食料安全保障の確立
(3) 農産物の貿易交渉 (P.73)
- ・第1章第6節 食品産業の動向
（事例）農業者が店舗や価格を決定できる小売店向け販売の仕組み（全国）(P.95)
- ・第2章第1節 農業の構造改革の推進
(4) 人材力の強化
（高い農業技術や経営管理能力を持つ人材の育成が期待される農業大学校）(P.119)
- ・第2章第3節 主要農畜産物の生産等の動向
(2) 米
（平成29年12月、米粉製品の認証制度がスタート）(P.149)
(6) 果実
（食の簡便化等が進む中、良食味果実に加え、原材料に適した果実の生産も重要）(P.154)
(7) 花き
（優れた特徴を持つ品種や高品質な花きを生産し、輸入品との差別化を図ることが重要）
(P.156)
(8) 茶
（優良品種への改植による茶園の若返りと需要に応じた生産体制の強化が重要）(P.158)
(11) 畜産物
（牛肉の増産に向けて、子牛育成部門の外部化による繁殖雌牛の増頭等が重要）(P.163)
- ・第2章第5節 気候変動への対応等の環境政策の推進
(2) 環境保全に配慮した農業の推進
（有機認証を受けた茶、こんにゃく、梅加工品の輸出が急増）(P.183)
（産学官によるプラットフォームに、戦略会議やプロジェクトが設置）(P.185)

- ・第3章第2節 中山間地域の農業の活性化
〈事例〉集落の体制を整備し、都市住民との交流や6次産業化を展開（福島県）(P.200)

○GAP

1. 中心となる記述部分

- ・第1章第2節 グローバルマーケットの戦略的な開拓
(2) 日本食・食文化の海外展開と規格・認証・知的財産の活用等
イ 規格・認証・知的財産の活用 (P.59)

2. その他の記述部分

- ・第2章第1節 農業の構造改革の推進
(4) 人材力の強化
〈事例〉農業大学校として全国初のGLOBALG.A.P.認証取得（新潟県）(P.120)
(6) 農業金融
〈事例〉農業向け融資の拡大により、地域農業の発展を目指す銀行（滋賀県）(P.130)
- ・第2章第4節 生産現場の競争力強化等の推進
(3) 農作業安全対策の推進
(農業者に応じた効果的な取組を進める「農作業安全リスクカルテ」が完成) (P.179)
- ・第4章第1節 東日本大震災からの復旧・復興
(2) 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の影響と復旧・復興
イ 風評の払拭に向けた取組等
(GAP認証の取得日本一を目指す「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」) (P.236)

○6次産業化

1. 中心となる記述部分

- ・第1章第7節 農林水産物・食品の新たな需要の開拓
(1) 6次産業化と地産地消 (P.101)

2. その他の記述部分

- ・特集 次世代を担う若手農業者の姿 ～農業経営の更なる発展に向けて～
2 若手農業者向けアンケート結果の分析
(2) 経営者の農業経営に対する考え（農家の経営主＋法人役員：1,508人）
ウ 今後伸ばしていきたい方向
(ウ) 関連事業
(「農産物の加工・販売」が49.7%で最高) (P.17)
- ・第2章第1節 農業の構造改革の推進
(1) 農業所得の動向
(1 経営体当たりの農業所得は直近5年間で最高を記録) (P.108)
- ・第3章第1節 農村地域の現状と地方創生に向けた動き
(農山漁村での仕事づくりに向け、農村産業法等が施行) (P.193)
- ・第3章第2節 中山間地域の農業の活性化
(各地の優良事例の発信と取組への支援を通じた横展開が重要) (P.200)
(チャレンジを支援する中山間地農業ルネッサンス事業と中山間地域所得向上支援対策)
(P.200)
- ・第3章第5節 地域資源の積極的な活用
〈事例〉ブルーベリーの品質と収量を維持しつつ、売電収入を獲得（千葉県）(P.214)

- ・第4章第1節 東日本大震災からの復旧・復興
 - (1) 地震・津波による被害と復旧・復興
 - イ 農業の復興
 - (「共創力で進む東北プロジェクト」で、新たな農産物流通について議論) (P.226)
 - (「新しい東北」復興ビジネスコンテストでは、農業関係3点が優秀賞に選定) (P.227)
 - (2) 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の影響と復旧・復興
 - ア 福島県の避難指示区域等の復興
 - (事例) トマトのテーマパークで、地域を元気に(福島県) (P.232)
- ・農業・農村地域の活性化を目指して –平成29(2017)年度農林水産祭天皇杯等受賞者事例紹介–
 - 味で勝負する「焼き芋」販売戦略による地域活性化と農家所得の向上 (P.245)

○人材力の強化

1. 中心となる記述部分

- ・第2章第1節 農業の構造改革の推進
 - (4) 人材力の強化 (P.119)

2. その他の記述部分

- ・特集 次世代を担う若手農業者の姿 ～農業経営の更なる発展に向けて～
 - 3 効率的かつ安定的な農業経営に向けた施策の展開方向
 - (農業経営の法人化、新技術の開発、伸ばしたい方向を後押しできる環境づくりが重要)
 - (事例) 投資と機械の稼働率向上等を通じて、効率的稲作経営を実現(新潟県) (P.18)
 - 4 若手農業者の雇用に関する動向等
 - (1) 若手新規就農者の動向
 - (若手新規就農者数は3年連続で2万人を超過)
 - (事例) 農協が出資している農業法人が就農を支援(長野県) (P.20)
 - (3) 法人雇用者の満足度や将来に対する考え(法人雇用者:79人)
 - ウ 将来の進路と身に付けたい技能
 - (事例) 農業法人が従業員の技能向上を通じて、昇給を実現(岐阜県) (P.24)
- ・第1章第2節 グローバルマーケットの戦略的な開拓
 - (2) 日本食・食文化の海外展開と規格・認証・知的財産の活用等
 - イ 規格・認証・知的財産の活用
 - (農業者によるGAPの実施と認証取得の拡大に向け、様々な動きが進展) (P.59)
- ・第2章第3節 主要農畜産物の生産等の動向
 - (11) 畜産物
 - (牛肉の増産に向けて、子牛育成部門の外部化による繁殖雌牛の増頭等が重要)
 - (事例) 後継者育成や肥育農家の経営安定の役割を果たす繁殖農場(岩手県) (P.164)
- ・第3章第7節 農業と多様な分野との連携
 - (近年、ハローワークを通じた障害者の農林漁業分野への就職件数は年間3千件弱) (P.221)

○女性の活躍

1. 中心となる記述部分

- ・第2章第1節 農業の構造改革の推進
 - (5) 女性農業者の活躍 (P.124)

2. その他の記述部分

- ・第1章第7節 農林水産物・食品の新たな需要の開拓
 - (1) 6次産業化と地産地消
(加工・直売等の農業生産関連事業の年間総販売金額は前年度から約1千億円増加) (P.101)
- ・第3章第4節 鳥獣被害とジビエ
 - (1) 鳥獣被害の現状と対策
(狩猟免許所持者は、近年、若手や女性が増加) (P.207)
- ・第3章第7節 農業と多様な分野との連携
(子ども農山漁村交流プロジェクトによる子供の受入れは185地域で実施) (P.221)
- ・農業・農村地域の活性化を目指して –平成29(2017)年度農林水産祭天皇杯等受賞者事例紹介–
 - 平成29(2017)年度農林水産祭内閣総理大臣賞受賞者(女性の活躍) (P.246)
 - 平成29(2017)年度農林水産祭日本農林漁業振興会会長賞受賞者(女性の活躍) (P.246)

○スマート農業

1. 中心となる記述部分

- ・第2章第4節 生産現場の競争力強化等の推進
 - (1) スマート農業の推進 (P.170)

2. その他の記述部分

- ・特集 次世代を担う若手農業者の姿 ～農業経営の更なる発展に向けて～
 - 2 若手農業者向けアンケート結果の分析
 - (2) 経営者の農業経営に対する考え(農家の経営主+法人役員:1,508人)
ウ 今後伸ばしていきたい方向
 - (ア) 農業生産
(販売金額が大きいほど重視される「IoT等新技術の導入」と「異業種との連携」)
(P.15)
 - 3 効率的かつ安定的な農業経営に向けた施策の展開方向
(農業経営の法人化、新技術の開発、伸ばしたい方向を後押しできる環境づくりが重要)
(P.18)
- ・第1章第1節 食料自給率と食料自給力指標
 - (1) 食料自給率の目標と動向
(長期的には低下傾向で、近年は一定の範囲で推移) (P.45)
- ・第3章第4節 鳥獣被害とジビエ
 - (1) 鳥獣被害の現状と対策
(鳥獣被害の防止に向け、鳥獣被害対策実施隊が1,140市町村で設置) (P.208)

○地方創生

1. 中心となる記述部分

- ・第3章第1節 農村地域の現状と地方創生に向けた動き (P.192)

2. その他の記述部分

- ・トピックス4 動き出した農泊 (P.39)
- ・第1章第6節 食品産業の動向
(国産食用農林水産物の重要な仕向先である食品製造業と外食産業) (P.90)
- ・第3章第2節 中山間地域の農業の活性化 (P.199)

- ・第3章第4節 鳥獣被害とジビエ
(2) ジビエの利用拡大 (P.210)
- ・第3章第5節 地域資源の積極的な活用 (P.213)
- ・第3章第7節 農業と多様な分野との連携
(子ども農山漁村交流プロジェクトによる子供の受入れは185地域で実施) (P.221)
- ・第4章第1節 東日本大震災からの復旧・復興
(2) 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の影響と復旧・復興
ア 福島県の避難指示区域等の復興
〈事例〉 トマトのテーマパークで、地域を元気に (福島県) (P.232)
- ・農業・農村地域の活性化を目指して -平成29 (2017) 年度農林水産祭天皇杯等受賞者事例紹介-
味で勝負する「焼き芋」販売戦略による地域活性化と農家所得の向上 (P.245)
「結い」の心でみんなでむらづくり (P.245)

○明治150年

- ・トピックス3 「明治150年」関連施策テーマ 我が国の近代化に大きく貢献した養蚕 (P.35)
- ・第1章第6節 食品産業の動向
〈コラム〉「明治150年」関連施策テーマ 明治期のグルタミン酸ナトリウムに始まる「うま味」成分の発見 (P.91)
- ・第2章第2節 農業生産基盤の整備と保全管理
〈コラム〉「明治150年」関連施策テーマ 農業水利発展の一翼を担った明治期の逆サイホンの設置 (P.139)